

TENTAC テンタック

使用上のご注意

CS_M_51-1.0



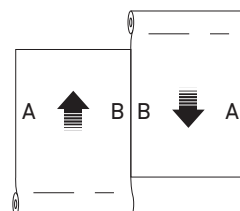
正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず「使用上のご注意」をよくお読みください。

⚠ 被着体・素材選定時の注意点

- シート施工後にテントを巻く場合は、施工面を外側にしてください。素材により、接着力が十分発揮できないものもありますので、あらかじめ接着強度をお確かめください。
- シボのあるテント地の水貼りはお避けください。
- 80℃位の熱に耐えられない素材、手で触れると粉が落ちるような素材、表面に顕著な凹凸のある素材には使用をお避けください。
- 一部のプラスチック樹脂板（ポリカーボネート・FRP・ウレタン等）は、貼り付け後、気泡が生じる場合があります。
- フッ素樹脂・ポリエチレン・ポリプロピレン等のプラスチック樹脂は、十分な粘着力が得られない場合があります。
- 金属板に貼付し、直射日光が当たる屋外で使用了場合、粘着剤の劣化が生じます。このようなご使用はお避けください。
- 熱や湿度がこもりやすい環境でのご使用はお避けください。フィルムや粘着剤の劣化が促進され、本来の機能が損なわれます。
- フィルムをはがす際に、ガラスの種類によっては糊が残る場合があります。
- アルミニウム等、腐食が生じる金属板への貼付はご注意ください。錆の発生で剥れる場合があります。
- 窓ガラスにフィルムを貼ると、ガラスの温度が上昇し熱割れを生じる場合があります。
- その他の素材・被着体については、お問い合わせください。

⚠ 施工について

- 看板フレームにテント素材を取り付け、シワが入っていないことを確認してから施工してください。
- 製品ロットにより、色調や質感が異なる場合があります。隣接して使用する場合は、同一ロットのものをご使用ください。また、同一ロットの場合でも、流れ方向の左右で微妙に色調や質感が違ふことがありますのでご注意ください。
- 隣合わせて貼る場合は上下を逆さに貼り、流れ方向の左右をあわせて作業を行ってください。（右図参照）
- 貼り付け作業は、5℃～30℃の環境条件下で行ってください。



1. 低温（10℃以下）の場合、ジェットヒーターなどで温めた後、作業を行い、十分圧着してください。
 2. 高温（30℃以上）の場合、初期粘着力が増し貼りづらくなるため、涼しい時間帯での作業をお勧めします。
- 表面の粗い被着体には熱を加えることにより、さらに強い粘着力が得られます。
 - 貼り付け時の熱圧着について-
 - 1. ドライヤー・ヒートガンの場合：貼り付け後、シートが被着面に馴染むまで温めながら柔らかい布などで十分に圧着する。
 - 2. アイロンの場合：貼り付け後、シート表面に布（綿などの目が細かい布地）をかぶせ、十分に圧着する。
 - 表面が傷付きやすいため、圧着する時は、こまめにフィルム表面に霧吹き等で中性洗剤入りの水をかけてください。乾いた状態のままスキージ等で圧着すると、フィルムを破損する場合がありますので、十分にご注意ください。
 - セパレーターは、滑りやすいので転倒事故等にはご注意ください。

施工後のメンテナンスについて

- フィルム施工後の養生期間中は、フィルムが乾いておりませんので、手を触れないようにしてください。
- 清掃は、フィルム施工後、1ヶ月以上の期間を置いてください。
- フィルム表面に汚れを付着させたままにすると、フィルムの劣化が促進されます。
- フィルムの性能を維持するためには、定期的な清掃が必要です。
 - 1) 窓ガラス清掃用ゴムスキージや水を含んだ柔らかい布で軽く水洗いしてください。乾拭きは避けてください。スキージ本体の金属部分（特にエッジ部分やボルト）がフィルムに接触しないよう注意してください。
 - 2) フィルムの表面は、必ず一方向に拭くようにしてください。（往復しないでください）
 - 3) 汚れがひどい場合は、中性洗剤（1～2％）を使用してください。アンモニア系、塩素系、有機系洗剤は使用しないでください。
 - 4) 砂ぼこり、金属粉等が付着している場合は、事前に水や十分に水を含んだ柔らかい布等で洗い流してください。（無理にこするとフィルムを傷つけます）
 - 5) フィルム面に継目があるときは、継目に沿って拭いてください。
 - 6) フィルムをクリーニングする場合は、事前に水や十分に水を含んだ柔らかい布等で、
- 付着したほこり等を洗い流し、上記の清掃を開始してください。
- フィルム表面に粘着テープやステッカー等を貼ったり、マジック等で書いたりしないでください。
- フィルムは有機材料でできていため、製品に寿命があります。また、使用環境が過酷な場合には、寿命が短くなったり外観や性能の劣化が生じることがあります。
- 予測しかねる環境変化によっては、不具合が生じる場合がありますので、ご使用にあたっては、事前に当社にお問い合わせください。目安として、通常の用法による使用の場合約～3年程度です。（但し当社において耐用期間として保証するものではありません）

その他

- 高温多湿や直射日光の当たる場所での保管は、お避けください。
- 製品を保管する際には、押し跡がつかないよう、宙吊り若しくは立ててください。
- 人体への貼り付け等、本来の用途以外でのご使用は、お避けください。
- 製品の仕様等は改良のため、予告無く変更する場合があります。
- 正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず「使用上のご注意」をよくお読みください。
- 廃棄上のご注意
 1. 焼却する場合大気汚染防止法などに適合した処理方法に従ってください。
 2. 埋立てする場合廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って、公認の廃棄物処理業者にて処理してください。

* ご不明な点等ございましたら、お問い合わせください。